

一般社団法人 日本医療機器学会  
2021 年度第 4 回理事会 議事録

日 時：2022 年 3 月 31 日（木）15:00～17:00

場 所：医科器械会館 2 階 セミナーホール（東京都文京区本郷 3-39-15）  
（会場・Web 併用開催）

出席者：高階 雅紀理事長、林 正晃副理事長、  
東 竜一郎、植竹 茂、臼杵 尚志、加藤 伸彦、川本 武、久保田 英雄、  
小西 賢三、小林 直樹、酒井 順哉、住谷 昌彦、高橋 典彦、中島 章夫、  
中野 壮陸、根本 裕司、深柄 和彦、福田 修一、松田 和久、松原 一郎、  
南 正人、美代 賢吾、安原 洋、矢富 裕の各理事  
新 秀直、本田 宏志の両監事

欠席者：青木 郁香

事務局：岩田 誠、寺嶋 秀之、桑原 祐子、池野谷 崇臣

定足数と出席理事の確認：定款第 36 条により理事 25 名の内過半数の 24 名が出席し、  
本理事会は有効に成立する旨の報告があった。（事務局）

## 1. 開会宣言、議事録の確認及び議事録署名人の指名

冒頭、理事長が慣例に従い、議長として開会(会場・Web 併用会議)を宣した。

- 1) 本会の議事録署名人は定款第 37 条により理事長及び本日出席の新監事、本田監事である旨の報告があり、出席者全員異議なくこれを承認した。
- 2) 2021 年度第 3 回(2021 年 12 月 13 日開催)議事録の内容確認があり、出席者全員により確認された。

## 2. 委員会報告等

### 1) 総務委員会（林委員長）

- (1) 2021 年度事業報告(案)と 2022 年度事業計画（案）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者一同これを承認した。

- (2) 会員数の推移（入会者の承認・退会者の確認）

会員数の推移について報告があり、本日現在の会員数は、名誉会員 9 名、功労会員 0 名、正会員 6,102 名、企業会員 291 社。前年同期比で正会員が 53 名、企業会員が 1 社増加した旨の報告があり、出席者はこれを承認した。

- (3) 個人正会員の入会について（推薦者、個別承認分）

推薦無しの新規企業会員 1 件、推薦無し新規個人正会員 14 件の入会依頼があり、審議の結果、出席者全員入会について異議なく承認した。

- (4) 協賛・後援・共催依頼実績

資料に基づき、協賛依頼 3 件、後援依頼 3 件と報告され、出席者はこれを承認した。

- (5) 褒賞制度：2021 年度「功績賞」について

事務局より、今年度の功績賞は推薦・申請共に無と報告があり、出席者一同これを承認した。

(6) 委員会・研究会・大会・マネージメントセミナー謝金旅費一覧

資料に基づき報告があり、前回理事会で質問・指摘された内容を確認し、出席者一同これを承認した。

2) 利益相反委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。日本医学会の「COI 管理ガイドライン」の変更等に対応した当学会に適した修正を必要に応じて行っていく旨報告がなされた。

3) 100周年記念事業実行委員会（安原委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、式典及び記念誌制作について、具体的検討を進めている旨報告がなされた。

4) 日本医学会/日本医学会連合（安原理事）

「新型コロナウイルス感染症パンデミックが他疾患を有する患者の診療に与える影響の背景因子分析」アンケートを実施し、集計した結果を取りまとめて日本医学会連合に報告する旨報告がなされた。

5) MDIC 認定委員会（白杵委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。テキストの改定は基本2年に1回とし、また、MDICの広報・普及活動を更に進める旨報告がなされた。

6) 将来構想委員会（深柄委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明され、出席者はこれを承認した。

7) 編集委員会（住谷委員長）

(1) 同事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、査読規程について検討を進める旨報告がなされた。

(2) 褒賞制度:2021年度「論文賞・著述賞」の選出の件

編集委員会より、論文賞及び著述賞は選考の結果、以下候補が推薦され、議長より諮ったところ異議なく承認された。

(論文賞) : 2件

著者 : 川邊 学 氏、小林 直樹 氏、加納 隆 氏

表題 : 「電磁環境の収集機能を有した医用テレメータ管理支援システム」

著者 : 山本 優人 氏、渡邊 琢朗 氏、竹内 道広 氏

表題 : 「温湿度センサを用いた交流量酸素投与器具の動作状態を監視するシステムの開発研究」

(著述賞) : 1件

書籍 : 「Surgery and Operating Room Innovation」

受賞者 : 藤原 道隆(名古屋大学)

理事長より、著述賞として受賞した書籍を会員への周知を図るべく、学会ホームページおよび学会誌に掲載する検討を編集委員会に依頼し了承された。

(3) 医療機器学投稿状況

資料に基づき、医療機器学投稿状況について報告がなされた。

8) 学術委員会（安原委員長）

2022 年度研究・開発助成制度募集結果について

応募申請無し

褒賞制度：2021 年度「技術賞・技術奨励賞」について

該当無し

(1) 安全対策委員会（南委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者はこれを承認した。

(2) クリニカルエンジニアリング委員会（加納委員長代理 中島委員）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、研究会をオンラインで 3 回実施した旨報告がなされた。

【臨床 ME 専門認定士合同認定委員会】（加納委員長代理 酒井委員）

2021 年度臨床 ME 専門認定士（新規・更新）認定の件

資料に基づき、2021 年度の臨床 ME 専門認定士新規申請者 34 名、更新申請者 146 名の合計 180 名が承認された。

(3) 機器と感染カンファレンス委員会（長瀬委員長代理 高階委員）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、第 29 回機器と感染カンファレンスを 2022 年 3 月 19 日(土)に開催、また、第 32 回を 2022 年 8 月に、第 33 回を 2023 年の 2 月もしくは 3 月に計画している旨報告がなされた。

(4) 病院サプライ研究会（久保田委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、例年東京で研究会を開催しているが、第 25 回については、コロナ禍でオンラインによる形式に変更したことにより、全国より 458 名の参加者を得た。第 26 回は 2022 年 11 月 5 日(土)に対面及びオンラインの併用を計画している。また、「滅菌管理システム白書」の作成及び WG の設置も計画している旨報告がなされた。

(5) メンテナンスマニュアル出版委員会（上寺委員長代理 安原学術委員長）

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明がなされ、出席者一同これを承認した。

9) 滅菌技士認定委員会（高階委員長）

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき、第 1・2 種滅菌技師・士の認定講習会開催および 2021 年 10 月の「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021」発行、および第 1 種滅菌技師、第 2 種滅菌技士の商標登録が完了した旨報告がなされた。また、延期となっていた滅菌技士認定制度 20 周年記念事業を 6 月 5 日（日）に開催予定であること、医療施設における滅菌供給業務の定期実態調査を行う旨報告がなされた。

(2) 滅菌技師奨学金給付規程について

滅菌技師奨学金給付規定(案)について説明あり、内容の一部追記・訂正の意見が出され、これらを修正することで出席者一同異議なくこれを承認した。

10) 広報委員会（久保田委員長）

資料に基づき説明があり、今後は現在検討中のパンフレットを活用した広報の推進ならびに会員向け情報の拡充を進めていく旨報告がなされた。また、広報に関連して、将来を睨み学生会員の今後の拡充について様々な意見が出され今後の検討課題とした。

11) 国際委員会（青木委員長代理、高階理事長）

(1) 資料に基づき説明があり、2022年度のAAMI年次大会は、実参加のみでWeb参加は認められず。また当学会第97回大会と日程が重複するため、参加を見合わせる予定である旨説明がなされた。

(2) 2022年度AAMIメンバーシップの希望・推薦

2022年度AAMIメンバーシップ登録に関し、当学会のメンバーシップ選定に関する基本的な考え方が説明され、新規登録希望者および推薦者がいれば事務局迄連絡するよう依頼がなされた。次回理事会で登録メンバーを確定・承認することで一同異議なく了承した。

〔ISO/TC198 国内対策委員会〕（東委員長）

資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。

12) 医療機器UDI標準化委員会（酒井委員長）

資料に基づき説明があり、2019年12月の薬機法改正に伴い、医療機器にGS1-128バーコード表示の義務化となったことから、病院と販売業者間の電子受発注システムビジネスモデルや医療機器本体に直接バーコード表示の重要性について、委員会の中で検討する旨説明がなされた。

13) 事業体部会（松原部会長）

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。

(2) 第97回大会併設展示会準備状況等について

現状展示52社(114小間)と1ホスピタルスペースの申し込みがあること、また公開セミナーは3セッションを予定している旨報告がなされた。

(3) 受託展示の今後の見通し

資料に基づき説明があり、コロナ禍によるWeb展示の動向で収支状況が左右される旨報告がなされた。

14) 関係団体

(1) (一財)日本医科器械資料保存協会 (事務局) 特に無し

(2) 日本医学会 (高階理事長)

① 評議員 (担当 高階理事長)

② 連絡委員 (担当 南理事)

③ 用語委員 (担当 深柄理事)

④ 用語代委員 (担当 住谷理事)

特に無し

(3) 日本臨床検査標準協議会 副会長 (矢富理事)

特に無し

**(4) (公財)医療機器センター 理事 (高階理事長)**

特に無し

**15) 財務委員会 (福田委員長)**

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。

(2) 2021 年度決算見込みについては、第 96 回大会の併設展示中止、各委員会の延期等も見られるが、前年比で増収・増益を見込む旨報告された。

(3) 2022 年度の予算については、収入について前年予算比△14 百万円の 207 百万円、予備費として 2 百万円見込んでいる旨説明がなされ、審議の結果、出席者一同これを承認した。

**16) 倫理委員会 (高橋委員長)**

(1) 同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。

(2) 資料に基づき、倫理規程(行動規範)(案)が説明され、出席者一同これを承認した。

**17) 滅菌管理業務検討委員会 (深柄委員長)**

同委員会の事業報告と事業計画が資料に基づき説明があり、出席者一同これを承認した。医療現場のための滅菌保証の施設評価ツールについては、現在最終調整中。次回理事会で報告し承認を得る予定である旨説明がなされた。

**3. 第 96 回大会収支確定・報告及び今後の学会大会開催予定**

**1) 第 96 回大会 (2021 年 12 月 13 日～2022 年 1 月 12 日：オンデマンド開催)**

**(1) 総括(報告) (高階大会長)**

第 96 回大会については、学術大会参加者 2 千人超を見込んでいたが、大会自体が 2 回も日程延期となってしまったことにより、参加登録者も 1795 人となった旨報告がなされた。

**(2) 大会収支確定・報告**

併設機器展示無しの大会となったが、最終収支は 6,3 百万円となった旨報告がなされた。オンデマンド配信等による新たに収録機材関係費用が掛かってきており、大会運営委託業者の選定についても慎重な検討が必要との意見が出された。

**2) 第 97 回大会 (2022 年 6 月 2～6 月 4 日：パシフィコ横浜) (住谷大会長・事務局)**

**(1) プログラム準備状況等**

大会長より、大会初日にマネジメントセミナーを 3 企画、特別講演・教育講演・シンポジウム等 20 講演予定していること、また、一般演題については、コロナ禍の影響をあるものの 4 会場を予定している旨報告がなされた。

**(2) 大会収支予算**

学術大会の参加登録者を 2200 名を予定し、最終収支は併設展示も含め 5.3 百万円を見込んでいる旨説明がなされ、出席者一同これを承認した。

**3) 第 98 回大会 (深柄大会長) (2023 年 6 月 1 日～6 月 3 日：パシフィコ横浜)**

特に無し

4) 第 99 回大会 (2024 年 6 月 20 日～6 月 22 日 : パシフィコ横浜)

(1) 大会長選出の件

立候補・他薦を募ったところ、C 系理事より林副理事長が推薦され本人も了承、出席者一同異議なくこれを承認した。

4. 閉会宣言(理事長)

その他の議題や質疑応答等かないことを確認し、議長が 17 時 25 分閉会宣言をした。

以上

(議事録署名)

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、理事長及び出席監事 2 名がこれに署名する。

2022 年 3 月 31 日

議事録署名人

(高階 雅紀理事長)

議事録署名人

(新 秀直監事)

議事録署名人

(本田 宏志監事)